

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-4-2		事業名	北海道洞爺湖サミット開催関連事業			
担当	総務局国際部サミット支援担当課 飯田 211-3103						
全体計画							
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・サミット開催に合わせて行う札幌PR事業の積極的な展開 ・北海道洞爺湖サミット道民会議等を通じたサミット開催支援 			<年度別の事業内容>			
				本事業は、平成20年度のみのものである。			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	/			<ul style="list-style-type: none"> ・G8サミットセミナーの実施 ・ジュニア・エイト・サミットの開催支援 ・アウトリーチ諸国の札幌滞在に係る対応(歓迎レセプション等) 			
達成目標の状況							
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (予 定)	21年度末 (予 定)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)
サミットの支援		-	-	推進	/	/	推進 (20年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 経済団体やボランティア団体などと連携した「北海道洞爺湖サミットおもてなし委員会」を設置し様々な活動を行うことにより、G8サミットを契機とした来札者に対するおもてなし機運の醸成を図る。また、G8サミットの市民向けセミナーを開催し、市民の国際理解の促進を図る。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] 「おもてなし委員会」を通じた様々な活動により、観光関係従事者等のおもてなしのレベルアップを図ることができる。 [情報協力] 海外プレスに対し、積極的に札幌の情報発信を行なうことにより、札幌の魅力を海外にアピールする。 [その他の協力]</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 経済団体やボランティア団体などと連携した「北海道洞爺湖サミットおもてなし委員会」の設置により、多くの市民や企業が参加しやすい仕組みとしている。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード		5-4-2		事業名	北海道洞爺湖サミット開催関連事業	
評価(成果)				課題		
<p>経済団体やボランティア団体などと連携した「北海道洞爺湖サミットおもてなし委員会」を設置し、各団体が様々な活動を行っており、G8サミットを契機とした来札者に対するおもてなし機運の醸成が図られている。また、G8サミットの市民向けセミナーの開催により、市民の国際理解の促進が図られている。</p>				<p>アウトリーチ諸国の首脳札幌滞在の可能性が高まっており、外務省や北海道(道民会議)との連携を十分に図る必要がある。</p>		
今後の事業の予定・方向						
<p>本事業は、平成20年度で完結する事業であるが、「北海道洞爺湖サミットおもてなし委員会」やその各種取り組みについて、今後も継続していくための方策の検討を進める。</p>						
事業費の推移						
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計
計画	事業費	-	-	-	-	-
	財源内訳					
	国・道支出金					
	市債 その他 一般財源					
予算	事業費	0	45,000	-	-	45,000
	財源内訳					
	国・道支出金	0	0			0
	市債 その他 一般財源	0	0			0
実績	事業費	0	-	-	-	0
	財源内訳					
	国・道支出金	0				0
	市債 その他 一般財源	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				-
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)						
(全体)						
[19年度]						
[20年度]						